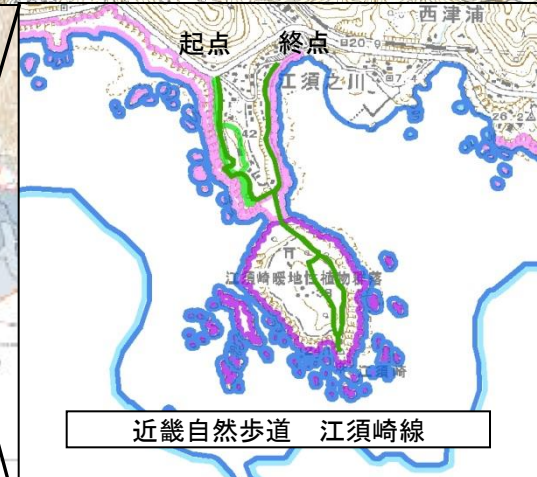
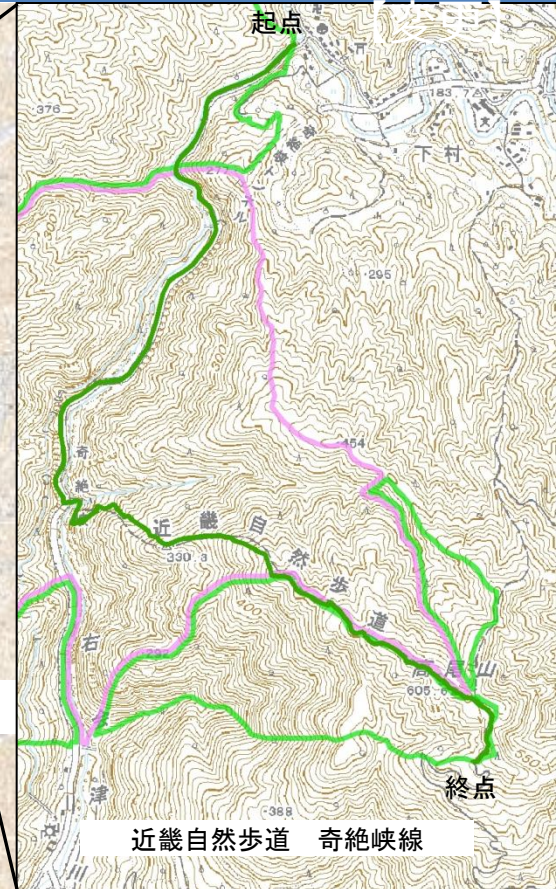


吉野熊野国立公園和歌山県地域利用者数
平成24年度：約447万人



既存施設の把握（歩道、公衆便所、駐車場）、解説板の整備



千里の浜線：歩道



千里の浜線：公衆便所



奇絶峡線：歩道



奇絶峡線：公衆便所



奇絶峡線：駐車場



奇絶峡線：四阿



長井坂線：歩道



江須崎線：歩道

- 本事業地周辺の利用形態は、景観鑑賞や自然散策、熊野古道のハイキング、砂浜での釣り等
- 当該路線には、公衆便所や歩道がすでに整備されている
- 江須崎においては、景観や地形の成り立ちに係る標識が不足
- これを整備することで、特徴的な地形の成り立ち、自然環境について利用者の理解が深化し、自然保護思想の普及啓発が図られる。

各国立公園の個別案件

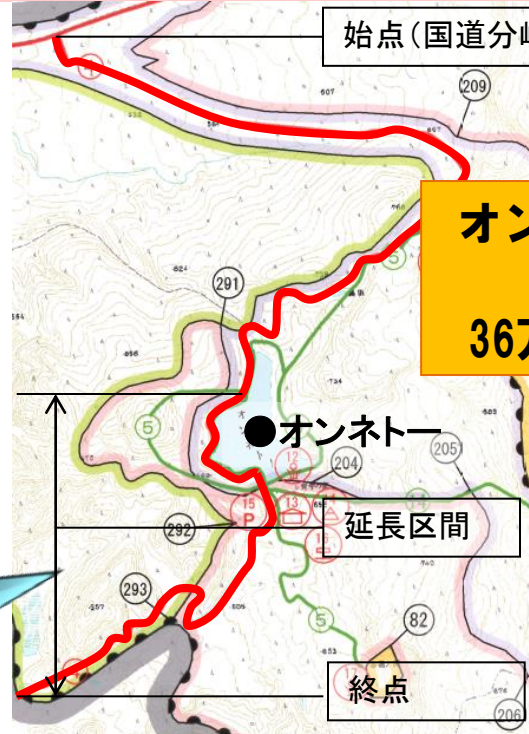
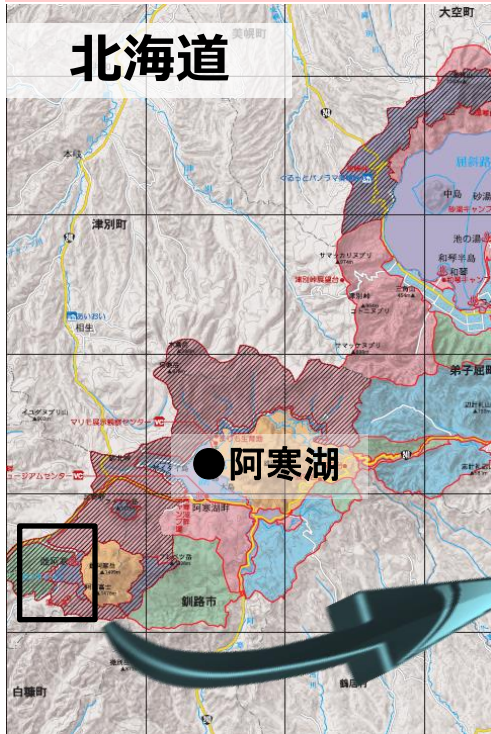
- 支笏洞爺国立公園 決定 1 件
- 阿寒国立公園 変更 1 件
- 三陸復興国立公園 決定 3 件、変更 1 件
- 磐梯朝日国立公園 変更 2 件
- 秩父多摩甲斐国立公園 決定 1 件
- 富士箱根伊豆国立公園 決定 1 件
- 山陰海岸国立公園 変更 1 件
- 瀬戸内海国立公園 決定 1 件、変更 1 件
- 大山隠岐国立公園 決定 1 件、変更 1 件
- 阿蘇くじゅう国立公園 決定 1 件

阿寒国立公園 オンネトー線道路（車道）

路線距離：5.7km→9.9km
有効幅員：5.5m→4m～5.5m
執行者：北海道

変更

第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域（国有林）



オンネトー



- 国道240号からオンネトー湖岸を通り、公園外に至る道路。
- 付近はシラカバ、トドマツ等からなる冷温帯針広混交林
- 路線沿いには雌阿寒温泉、雌阿寒岳登山口及びオンネトー野営場といった利用拠点が存在

火山防災対策のための高規格化

- 当該地域は、雌阿寒岳山頂火口域から3 km付近に位置
- 当該路線は雌阿寒岳火山防災会議協議会が作成した「雌阿寒岳火山防災計画」において避難経路に位置付けられている。
- 大部分が未舗装路であり、カーブの連続による視距不足や狭隘な幅員のため対向車とのすれ違いが極めて困難。



狭隘な未舗装区間（現・町道）

円滑な避難誘導を可能にする等、
避難経路としての機能が必要



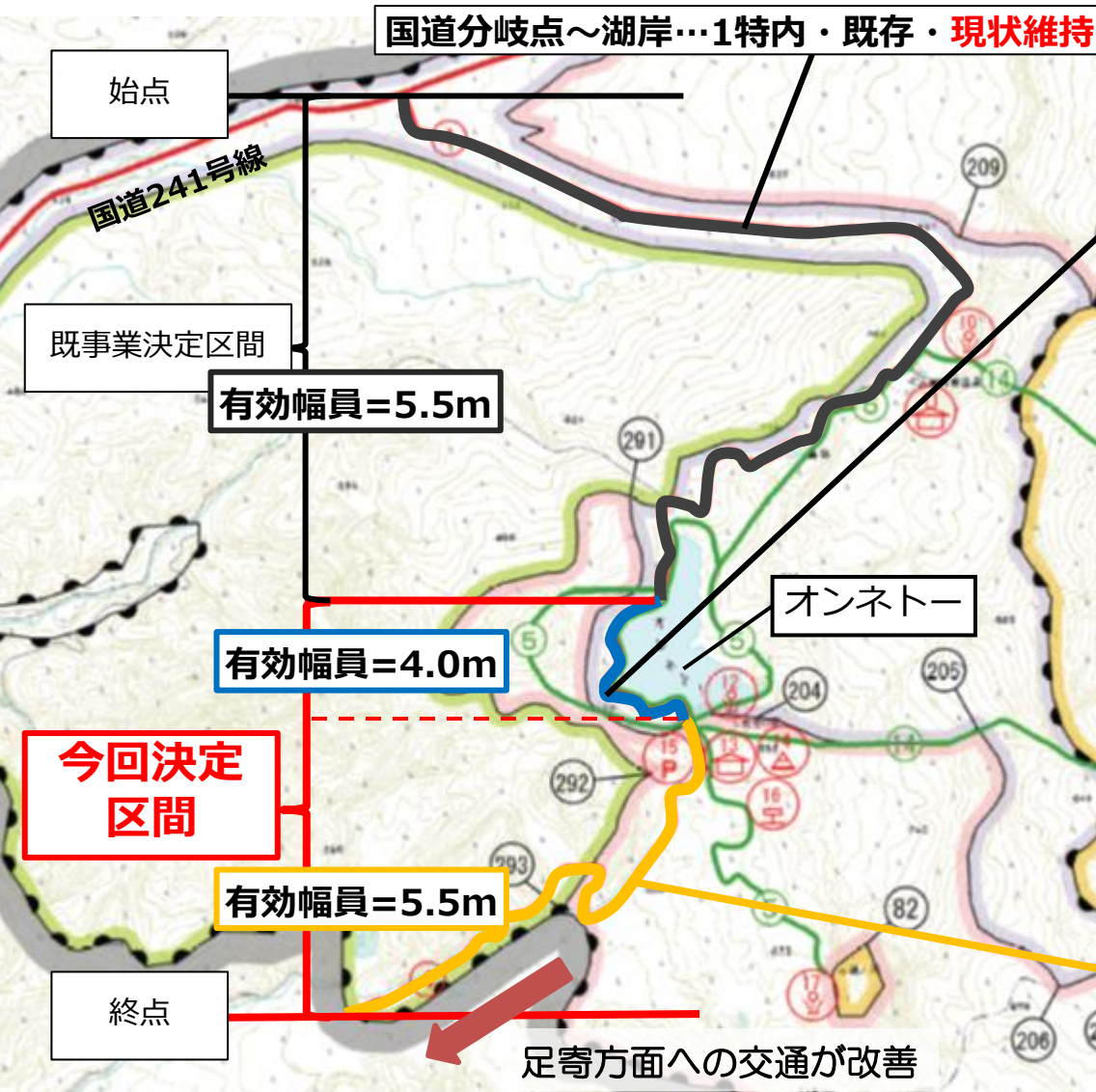
しかし、オンネトー湖より南の
一部区間について機能が不十分



**線形改良・拡幅等の高規格化
により対応**

変更内容

区間の延長及び現道の拡幅



湖岸付近…1特内・既存・現状維持
 (青線箇所：区間距離0.8km)
 湖岸の風致を保護するため有効幅員4mとし、現道の舗装程度に留める。



湖岸～公園境界…2・3特内・既存改良
 (黄線箇所：区間距離3.4km)
 避難経路としての役割を持たせるため、有効幅員5.5mとし、線形改良・拡幅※

※拡幅部分はシラカバ等の二次林であり、特に保護の必要な希少種等の生育・生息は確認されていない

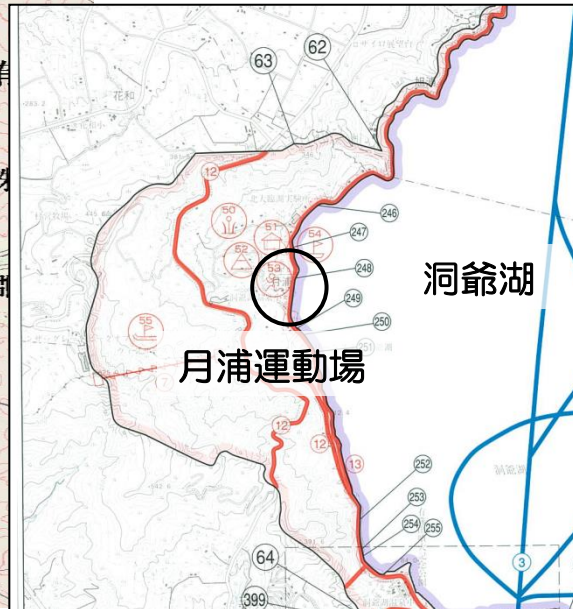
支笏洞爺国立公園 月浦運動場

決定

区域面積：1.7ha

執行予定：洞爺湖町

第2種特別地域（洞爺湖町有地）



月浦地区から洞爺湖を望む



旧月浦小学校舎と校庭

- 支笏洞爺国立公園を代表する景観である洞爺湖の西側にある住宅や畑が点在する月浦地区
- 整備計画地は洞爺湖の西側にそびえるポロモイ山山麓に位置する、旧虻田町立月浦小学校の跡地である

小学校跡地を運動場として整備



旧小学校施設



運動場（計画）



- 老朽化した旧小学校敷地をサッカー利用を主とした運動場として整備。
- 月浦野営場、洞爺湖温泉を利用拠点とした利用、日帰り利用を想定。
- 運動場の利用時はもちろん、利用の合間に国立公園の自然景観を体感できる場所として整備予定。
- 廃屋放置や敷地荒廃が防がれる。

三陸復興国立公園

たけのうら・いずしま

竹浦・出島線道路（車道）

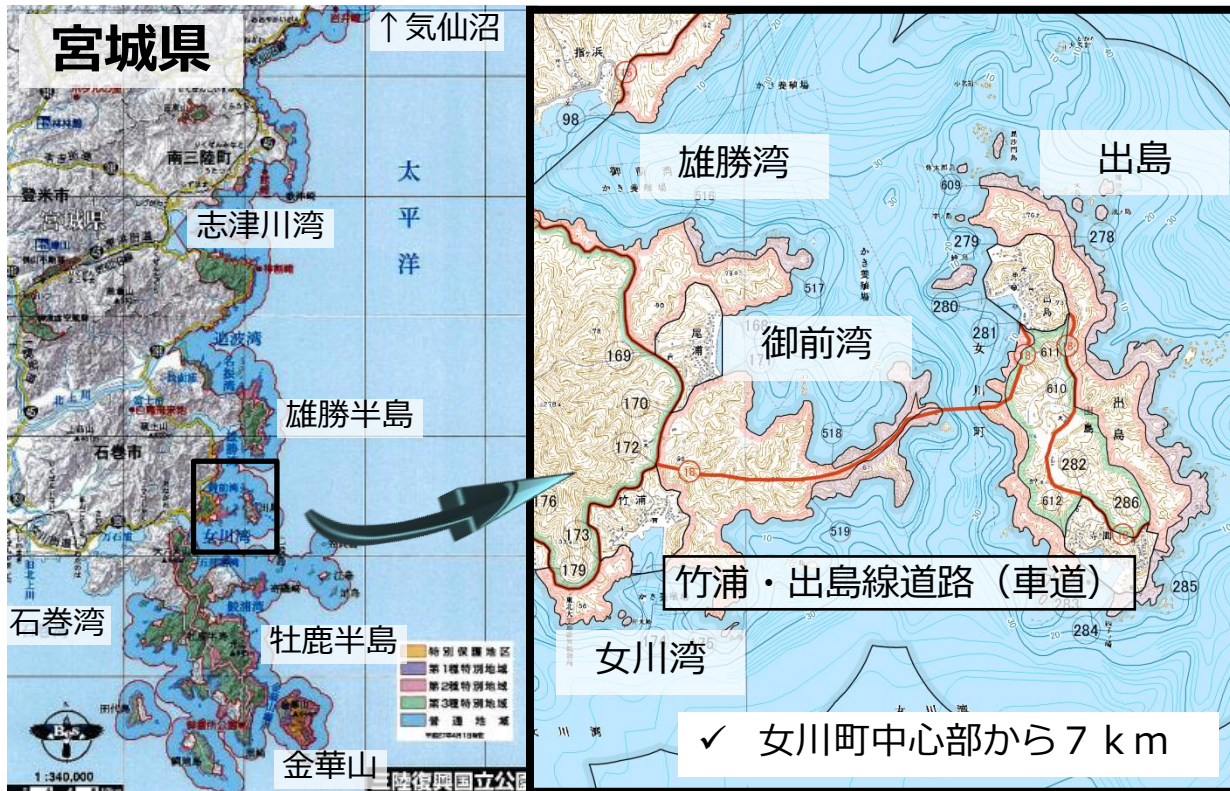
決定

路線距離：6.5 km

有効幅員：3.0m～6.0m

執行予定：宮城県、女川町

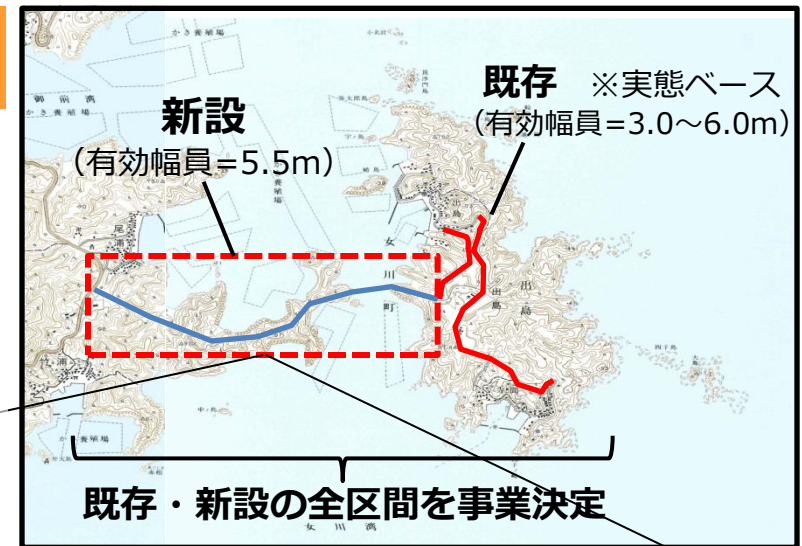
第1種、第2種、第3種特別地域、普通地域（県有地、町有地、民有地）



- 女川湾北部の半島から出島に至る車道
- 出島からは、荒々しい海食崖や周辺島嶼が鑑賞できる
- 出島周辺では、ダイビングやシーカヤックなどの自然体験型利用が盛んである

道路の整備（トンネル、橋梁等）

- 現状のアクセスは定期船（日3便）に限定
- 震災を契機に、離島からの避難路の重要性が再認識され、車道を計画
- アクセスを改善することで、出島における風景鑑賞や自然体験型利用を促進



新設区間



本土との接続により、出島周辺及び御前湾における公園利用の増加につなげる

町道女川出島線 全体計画延長 L=2,920m

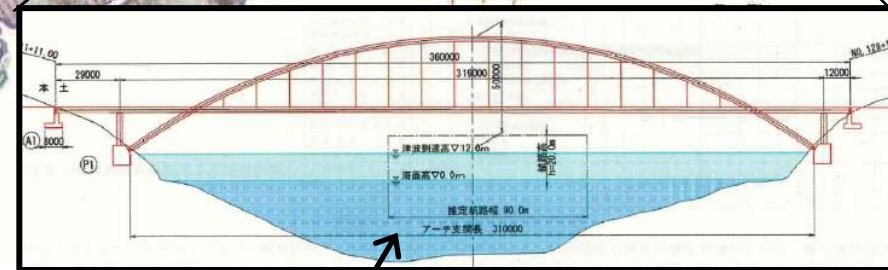
- 車道：約3km
- 有効幅員：5.5m
- トンネル：1箇所
- 橋梁：4箇所

起点

伐採対象の樹林帯

- クリ・コナラ林…3ha
- アカマツ林…2ha
- スギ人工林…1ha

- …切土
- …盛土



- 比較検討の上、最も地形の改変の少ないルートが選定
- 「出島架橋」は橋脚が海中に整備されない「アーチ型」を選定
- 当該道路は、主要な展望地（公園事業道路等）からはほぼ望見されない
- 必要な土砂は同一工事内で工面し、残土は国立公園外で処理
- 工事の際には、濁水流出防止措置がとられ、海岸環境への影響を防止
- ただし、近隣にミサゴの営巣地があることから工事時期について調整

今後の公園利用の活用については、「管理運営計画」策定の中で検討

三陸復興国立公園 月浜園地

決定

区域面積：7.0ha

執行予定：環境省、石巻市

第2種特別地域(国有地、市有地 ※環境省が取得する方針)



追波湾



当該建築物は既に撤去済

月浜沢川

- ✓ 石巻河北 I C から 18 km
- ✓ 神割崎 集団施設地区 に 近接

- 戸倉半島南部、北上川沿いに位置する被災低平地
- 冬季は追波湾に渡り鳥が集まる
- 河川を中心とした自然体験活動を推進

園地の整備（案内所、休憩所等）

区域面積：7.0ha

執行予定：環境省、石巻市

案内所
(環境省)

休憩所
(石巻市)

- 案内所：約700m²
- 休憩所：約100m² ※石巻市
- 園路：約1.2km
- 要所に木製ベンチを配置
- 月浜沢川を石積護岸に改修
- 盛土は防災集団移転事業発生した残土を利用



北上川